

2020年度 第3回 レビー小体型認知症サポートネットワーク京都 活動報告書

日時：2020年10月10日 13:30～16:00

内容：医師の講話と質疑応答

参加者：19名

コロナ禍の中、zoom機能を活用したonlineでの交流会を開催いたしました。少しでも理解しやすいよう、事前に聞きたいことを伺って、それをもとに講義が構成されました。今回は、小グループワークも実施しました。また交流会に先立って、zoomの練習会の時間を設け、入り方、音声などの確認をしました。

以下にその内容（一部）を報告いたします。

➤ レクチャー テーマ「DLBとパーキンソン症状」

講師：京都府立医科大学 脳神経内科 近藤正樹先生

3つの内容のお話でした。

- ① パーキンソン症状（パーキンソン病様症状）とパーキンソン病、②DLBのパーキンソン症状、③ DLBのパーキンソン症状の治療

レビー小体型認知症(DLB)の臨床症状についての説明後、パーキンソン病とパーキンソン病の運動症状についてのお話がありました。DLBのパーキンソン症状として、振戦よりも筋強剛、無動、寡動が主体になることや早期から姿勢反射障害が出やすいことが特徴である。パーキンソン症状の治療については、薬物療法の有効性と副作用として、パーキンソン病に比べて効果が限定的であることや副作用（精神症状の悪化）が出やすい。リハビリテーションについては、振戦や筋強剛などの一次的機能障害を改善する訓練方法はなく、廃用を中心とした二次的機能障害に対する有用性の報告は多い。などでした。

➤ 参加者の声 賛否ありました

よかった点

- ・グループに分かれての話合いができたところが良かったです。
- ・東京からリモート参加する事ができた。全体的に見て運営もスムーズだった。
- ・2回目のZoom参加でした。私としては音声もクリアで問題ありませんでした。
- ・初めは不安がありましたが、思っていたより気楽に話す事が出来たと思います。

よくなかった点

- ・音声会議なので、話のテンポが悪くなる事がある点です。いずれ慣れるかなあとは思います。
- ・もう少し時間があれば発言されなかった方の意見も聞けたかと残念に思いました。
- ・時々テレビを見ているような感覚になり、返事や表現が難しいなあと思いました。